

名古屋工業大学倫理教育方針

2026 年 9 月 2 日 教育企画院決定

名古屋工業大学は、「ひとづくり、ものづくり、未来づくり」の教育理念のもと、科学技術を通じて社会に貢献する技術者・研究者を育成する。技術者・研究者には、学問に対する誠実な姿勢を備え、科学技術が社会や環境に及ぼす影響を理解し、公衆の安全と健康及び社会の利益に配慮しながら責任ある行動をとることが求められる。

このことから本学では、学生が学修段階に応じ、技術者・研究者としての倫理的能力を身に付ける倫理教育を実施する。到達目標は、学部では「倫理的理解」の基盤形成、博士前期課程では「倫理的判断力」の涵養、また博士後期課程では「責任ある研究遂行能力」の育成とする。

【工学部】

人間・文化・社会と科学技術との関わりを理解し、技術者として求められる倫理的理解の基盤を形成する。学生が科学技術の社会的影響に関心に向け、技術者としての社会的責任を自覚することを目標とする。このため、工学コア教育科目を中心に技術者としての責任感の涵養を図り、専門教育科目を通じて科学技術が我々の社会や生活に及ぼす影響や果たす役割に関する倫理教育を実施する。

【大学院工学研究科 博士前期課程】

研究活動及び技術開発において求められる倫理的判断力を涵養する。倫理的課題に対し、適切かつ責任ある判断と行動をとるための素養を身に付けることを目標とする。このため、倫理科目を含む共通科目及び産業界等からの講義を含む専門教育科目を通じ、技術者・研究者として求められる倫理的判断や科学技術と社会・環境をめぐる倫理的課題への対応及び実践的な研究活動を通じて倫理的課題について考える倫理教育を実施する。

【大学院工学研究科 博士後期課程】

自律した技術者・研究者として責任ある研究開発を遂行する能力を育成する。研究倫理を遵守するとともに、研究活動における倫理的課題に主体的に対応し、多様な技術者・研究者及び社会との対話と協働を通じて、健全で社会から信頼される研究活動を実践できる能力を身に付けることを目標とする。このため、倫理科目及び研究指導を通じ、研究公正を含む研究者倫理、技術者・研究者として求められる責務並びに研究活動における倫理的課題への対応等に関する倫理教育を実施する。